

タンスを作る仕事を
探して三島へ。
木の魅力を伝えたい。



しだ あきえ
志田 明恵さん(20代)

<三島町>

木工職人
(起業)

2019年 Iターン

桐工芸の魅力に惹かれ三島町へIターン

『会津には「女の子が生まれたら桐の木を植えて、嫁入り道具の桐のタンスに仕立てる」という風習がありました。その桐タンスの中心的存在が三島町の桐職人さん達です。三島町では今でも桐の木を植え、タンスを作る高い技術の職人さんがいます。人口約1,400人、高齢化率約54%ですが、シニア世代が元気に活躍している町でもあります。』

東京都生まれで木に関わる職人になりたいと思った志田さん。三島町に移住したきっかけ、移住してからの仕事や生活など、三島町生活工芸館の場所をお借りして取材をしました。』

取材日 2022年9月28日

移住のきっかけと暮らし

<移住のきっかけ>

高校生の時に北欧家具の魅力にはまり、木工職人か家具職人になりたいと決めました。大学に進んで家具を勉強するという選択肢もあったのですが、日本家具に詳しい先生の影響と学生の夏1か月、家具実習を学んだことがあり、実践で学んだ方が早いと思い就職を選びました。ところが学校にくる就職情報では私が希望するような会社はなくて、自力で全国の求人を探しました。やっと見つけた1件が桐製品の技術取得と振興を目的とした三島町の地域おこし協力隊でした。特に両親にも反対されませんでしたので、自分で応募をし2018年4月に移住しました。

<三島町の暮らし>

三島町には決める前に一度見に来ました。桐の木が身近に見られる素敵なところだと思いましたね。

来るなら車は必要と言われていたので学生のうちに車の免許を取って、車も持ってきました。会津宮下駅の近くにある単身者向けの集合住宅に入居しました。そこには移住の先輩や単身赴任の方等、一人暮らしの方がいたので安心できましたし、何より駐車場に雪を溶かしてくれるロードヒーティングがあり雪初心者の私にとって心強かったです。今ではすっかり雪に慣れました。

三島町に住んで驚いたのは小学生やご近所さんが挨拶をしっかりとすることです。都内だと知らない人に挨拶



はしないですね。実は私、すごく人見知りなので自分から挨拶できなかったのですが、ここでは挨拶が大事で、挨拶から知り合いが増えていくと分かりました。

あとゴミ出しルールが東京都と違って戸惑いました。自分の当たり前は移住先の当たり前じゃないと気づき、まずは移住先の生活や考えに合わせる事が大事なんだと、今は実践しています。

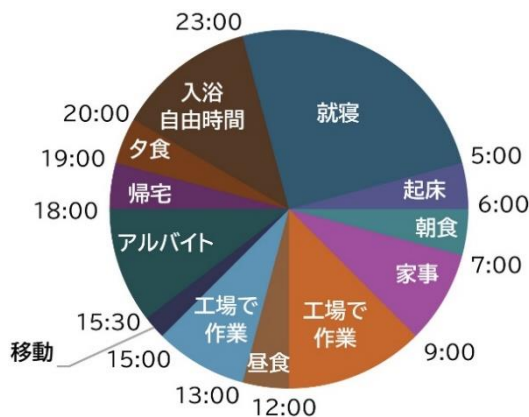
<三島町での仕事>

地域おこし協力隊の仕事場は会津桐タンス(株)でした。一番最初は刃物の使い方を覚え、次にカンナかけです。木は裏表があるのですが、下ごしらえといって木の裏表を絵合わせし、一枚に見えるように板張りをします。一枚板に見せるのが職人の技ですね。板をタンスに加工していくのですが、大きなものは熟練の方が行います。私は3年間の協力隊の活動で小ぶりのタンスを作れるまでになりました。今は独立し、主人の実家に住んでいるのですが、近くにある小屋を作業場に使用させていただいています。作業のための機



時間貸してできる作業場での様子

ある一日のスケジュール



械は買うと高いのですが、生活工芸館の一角に本格的な機械が揃っていて町民なら時間利用ができるのです。ここがあるおかげで木の下処理や加工ができるので、毎日通っている方がいるほどモノづくりには大事な場所です。私もよく来ますが、町の方にいろいろ教えてもらえる場にもなっています。

<三島町の魅力>

三島町は全国的にも桐を育てている貴重な場所です。私もこれからは自分で木工を作って販売し、将来的には桐商品などのオーダーにも答えられるようになっていきたいと思っています。

工芸館の展示品を見ると分かるのですが三島町の人って「必要なものがないなら自分で作ればいい」という考えなんですね。だから職人さんがたくさんいるんだと思います。年に一度開催される「工人まつり」は奥会津の人が手作りの作品を販売する場になっていて、全国から購入希望者が集まってきます。作ったものを売れる機会があるのも魅力だと思います。

あと、ここに住んで感じたのは時間がゆっくり流れているということです。東京にいた時と全然違います。最近は週2回、仕事が終わってからの卓球を始めました。地元の人に誘われたんですが、上手じゃなくても意外に楽しいんです。人見知りの私でも受け入れたのは、町の人が誘ってくれたおかげだと思います。自分たちで工夫しながら楽しんでいる町です。

志田さんの行動歴

東京都生まれ ⇒ 三島町へ

移住を検討している方にアドバイス

奥会津はまだ方言が残っている方も多くいます。聴く気持ちがあれば大丈夫です。



前職場の先輩が作った桐たんす前にて

現住人口 1,382人 男性/690人 女性/692人

面積 90.81平方キロメートル

標高 海拔 250.3m(三島町役場)

最寄駅 JR只見線「会津宮下駅」

最寄IC 磐越自動車道「会津坂下IC」

保・幼・こ 認可保育所 1か所

小学校数 公立 1校

中学校数 公立 1校

高校数 なし(周辺市町にあり)

病院数 病院 1か所

町の特徴

三島町は西部に位置し、尾瀬を源流とする只見川沿いにある山間の町で、古くから桐の産地としても有名である。三島町では、暮らしに必要な道具を身近な素材を使って自分たちの手で作る「ものづくり＝生活工芸文化」が色濃く残っている。縄文時代より脈々と受け継がれているものづくり文化を身近に感じられる暮らしが三島町の魅力である。

移住 サポート 窓口

三島町役場(地域政策課)
三島町理想の雪国の暮らしを実現！三島町への移住を考えてみませんか？
<http://www.town.mishima.fukushima.jp>
電話：0241-48-5533
メール：seisaku@town.mishima.fukushima.jp

